

【広東省・広州市・深圳市週報】

8月1日～8月7日

1. 広東省

1. 社会の安定維持に関する全省業務会議の開催

●7月31日午前、胡春華・省党書記主宰の上記会議で、中央・省党委員会の社会の安定維持に関する業務手配・要求を断固として貫徹し、方向性を変えず、全力で取り組み、更に積極的かつ主体的に仕事を行い、省全体の社会的安定をしっかりと維持するよう強調（8月1日付『南方日報』）。

2. 大型台風へ備え、重要な指示・指導

●7月31日、大型台風4号“ニーダ”が広東省沿岸部または珠江デルタ地域に上陸するとの予報を受け、胡春華・省党書記、朱小丹・省長がそれぞれ指示を出し、全力で防災作業に取り組むよう呼びかけた（8月1日付『南方日報』）。

●1日午後、胡春華・省党書記、朱小丹・省長が三防総指揮部へ赴き、“ニーダ”に対する防災作業を確認。併せて、胡書記は東莞市、深圳市で防災作業現場を点検し、最前線で奮闘する作業員を見舞った（8月2日付『南方日報』）。

●2日未明、“ニーダ”が深圳市大鵬半島に上陸。早朝、深圳市で防災作業を確認していた胡春華・省党書記は、すぐに最前線で防災・救済作業を指導。同市で三防事務所主宰のテレビ電話会議を開き、各地の被害状況を把握し、次の作業を指示。珠海市で防災作業を指揮していた朱小丹・省長や馬興瑞・深圳市党書記等も同会議に出席（8月3日付『南方日報』）。

●2日午後、朱小丹・省長が珠海市から広州市へ戻り、広州海事局を訪れ、海上救助の実施状況を確認・指導。鄧海光・副省長も同行（8月3日付『南方日報』）。

3. 深圳大学が寄付金で“吳玉章楼”を建設

●7月31日、吳小蘭慈善基金会の寄付金（1.2億元）により深圳大学に建設されることになった“吳玉章楼”の関連式典が広州市で行われ、朱小丹・省長、馬興瑞・深圳市党書記、藍仏安・副省長、許勤・深圳市長が出席。同基金会は併せて同大学の“一帯一路”国際協力発展研究院（深圳）創設に資金援助し、国内外に影響を持つ新型シンクタンクを構築していくこととなった（8月1日付『南方日報』）。

※吳玉章：労働者階級の革命家、教育家、歴史学者、言語学者。その孫娘・吳小蘭は深圳市京蘭投資有限公司董事長。

4. 朱小丹・省長が広州市の企業を視察

●1日午前、朱小丹・省長と関連部門の責任者が広州市南沙地区のハイテク製造企業（グラフェン、LED等）4社を訪れ、企業の科学技術イノベーション状況を視察。任学鋒・広州市党書記、温国輝・広州市長も同行（8月2日付『南方日報』）。

5. 省人代常務委員会党組織拡大会議の開催

●1日、黄龍雲・省人代常務委員会主任主宰の上記会議で、省党11期第7回全体会議の精神を伝達・学習。五大発展理念を以て、人代の業務計画を牽引していくよう強調（8月2日付『南方日報』）。

6. 省政協党組織拡大会議の開催

●1日、王栄・省政協主席主宰の上記会議で、省党11期第7回全体会議の精神を伝達・学習し、業務を検討・手配。供給構造改革を全力で後押ししていく（8月2日付『南方日報』）。

7. 広東省が土地収用代を完済

●2日、省国土資源庁によれば、本年6月30日をもって、2010年1月1日～2014年12月31日までの期間に公共事業のために農民から収用した土地の代金（約24.6億元）の補償がすべて終了した。続けて、2012年以前の約13万ムー（約8,700ha）の留用地の補償に取り組んでいく（8月3日付『南方日報』）。

8. 朱小丹・省長が湛江市を視察

●3日午前、朱小丹・省長と関連部門の責任者が湛江市を訪れ、徐聞港区建設計画の進捗状況を視察（8月4日付『南方日報』）。

9. 朱小丹・省長がインドネシア人類発展・文化統括部長一行と会談

●3日晚、上記会談で朱小丹・省長は、“一帯一路”の共同建設において、観光・文化・教育・海洋・農業等の分野で実際的かつ具体的なプロジェクトを計画し、友好協力のためのプラットフォーム構築を強化していきたいと伝えた。許瑞生・副省長も同席（8月4日付『南方日報』）。

10. 朱小丹・省長が惠州市を視察

●4日、朱小丹・省長と関連部門の責任者が惠州市を訪れ、都市環境の総合的なガバナンス、創業・イノベーション、重要プロジェクトの進捗状況を視察（8月5日付『南方日報』）。

11. 朱小丹・省長が汕頭市、揭陽市を視察

●5日、朱小丹・省長と関連部門の責任者が汕頭市、揭陽市を訪れ、污水处理場等、練江流域の汚染対策状況を視察。座談会を開催し、次の業務を検討・手配（8月6日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 任学鋒・市党書記、温国輝・市長が大型台風へ備え、作業手配・指導

●2日、大型台風“ニーダ”が広東省沿岸、珠江デルタ河口付近に上陸するとの予報を受け、7月31日、広州市は三防作業に関するテレビ会議を開催し、防災作業を全面的に手配（8月1日付『広州日報』）。

●1日午後～晩、任学鋒・市党書記、温国輝・市長がそれぞれ番禺区、越秀区・天河区へ赴き、台風防災作業の最前線で現場確認・監督指導し、再手配・再動員（8月2日付『広州日報』）。

●2日午前、広州市がテレビ会議を開催し、任学鋒・市党書記、温国輝・市長が出席。救済作業、生産・生活の復旧作業等を更に手配（8月3日付『広州日報』）。

2. 市政府常務会議の開催

●3日午後、温国輝・市長主宰の上記会議で、習近平・総書記の安全な生産に関する重要講話、安全な生産と都市の安全な管理運営に関する全省テレビ電話会議の精神、省2016年立法業務会議の精神を伝達・学習。本年の市党常務委員会における業務の要点、市政府重点業務の上半期の進捗状況について聴取。「2016年住宅保障目標・任務の分担及び関連する建設計画」等について審議し採択（8月4日付『広州日報』）。

3. 市党11期第9回全体会議の開催

●4日午前、上記会議が開幕（5日閉幕）し、任学鋒・市党書記が特別テーマについて講話、温国輝・市長が関連文書について説明。広州市はハブ型ネットワーク・シティを建設し、国家の重要な中心都市としての建設を推進し、全面的に水準を向上させていく（8月5日付『広州日報』）。

●4日、任学鋒・市党書記が上記分科会に出席し、市民の生活を更に安全・便利・快適・幸福にしていきたいと強調（8月5日付『広州日報』）。

●4日午後、温国輝・市長が上記分科会に出席し、「都市計画建設・管理業務に関する市党・人民政府の実施意見」等について討議し修正（8月5日付『広州日報』）。

4. 社会の安定維持に関する業務会議の開催

●5日、温国輝・市長主宰の上記会議に、任学鋒・市党書記、陳建華・市人代常務委員会主任、蘇志佳・市政協主席が出席。陳如桂・市党政法書記が社会の安定維持に関する上半期の業務状況を総括し、下半期の業務を手配（8月6日付『広州日報』）。

5. 市政府と航空宇宙情報株式有限公司が戦略的提携

●5日午後、温国輝・市長が時陽・航空宇宙情報株式有限公司董事長と会談し、戦略的協力枠組み協定に署名（8月6日付『広州日報』）。

6. 温国輝・市長、陳建華・市人代常務委員会主任が嚴之堯・国土資源部総合プランナーと会談

●5日昼、温国輝・市長、陳建華・市人代常務委員会主任が、建設用地の配置の最適化を視察するため広州市を訪れた嚴之堯・国土資源部総合プランナーと会談（8月6日付『広州日報』）。

Ⅲ. 深圳市

1. “八一”慰問活動

●先頃、馬興瑞・市党書記が市公安消防分隊、省公安辺境団第6分隊を慰問し、座談会を開催。許勤・市長は深圳警備区、丘海・市人代常務委員会主任は在香港部隊深圳基地、戴北方・市政協主席は龍崗区布吉及び平湖の駐在部隊をそれぞれ慰問（8月1日付『深圳特区報』）。

2. 大型台風へ備え、防災作業を周到に指示・手配

●大型台風4号“ニータ”が広東省沿岸部または珠江デルタ地域に上陸し、深圳市では豪雨になる可能性があるとの予報を受け、馬興瑞・市党書記、許勤・市長はこの度の台風防災作業を非常に重視し、全市の三防系統に作業の手配を周到に行い、安全を確保するよう指示（8月1日付『深圳特区報』）。

●7月31日午後、許勤・市長が空港の燃料用タンク、建築現場等を緊急視察し、安全な生産に関する業務を再確認・再手配（8月1日付『深圳特区報』）。

●2日午後、馬興瑞・市党書記、許勤・市長は市三防指揮部へ赴き、各区（新区）の台風防災作業の状況について聴取。2日未明まで、馬書記、許市長はそれぞれ市三防指揮部、大鵬新区三防指揮部に待機し、台風の進路を注視し、各区各部門の防災作業を組織。深圳市では勧告により、4,557人が避難した（8月2日付『深圳特区報』）。

●2日午前、馬興瑞・市党書記主宰の三防業務テレビ電話会議で、胡春華・省党書記、朱小丹・省長の重要な指示を貫徹・実行し、省党委員会・省政府の要求に従い、深圳市の防災救助作業を更に手配。許勤・市長も出席し講話（8月3日付『深圳特区報』）。

3. インフラ建設の手配・推進会議の開催

●3日午前、許勤・市長主宰の上記会議で、インフラ建設状況について聴取し、次の業務を手配。会議では、市発展改革委員会、科学技術イノベーション委員会、交通運輸委員会、教育局、龍崗区がそれぞれ進捗状況と次の業務計画について報告（8月4日付『深圳特区報』）。

4. 市政府党組織拡大会議の開催

●3日午後、許勤・市長主宰の上記会議で、省党11期第7回全体会議の精神を伝達・学習（8月4日付『深圳特区報』）。

5. 供給構造改革等に関する市政府特別会議の開催

●4日、許勤・市長主宰の供給構造改革、本年上半期の業務総括、並びに下半期の業務計画に関する特別会議が開催され、各部門、各区（新区）、在深圳中央政府関連部門がそれぞれ報告。出席者は皆、理論面からも実践面からも検討し、供給構造改革を急いで進め、下半期の業務をしっかりと実行するために、認識や考えについて述べ、措置を明らかにし、深く討議した（8月5日付『深圳特区報』）。

6. 許勤・市長が王兆耀・中国有人探査機事業弁公室主任と会談

●4日午前、馬興瑞・市党書記から委託を受けた許勤・市長は上記会談で、深圳市は航空宇宙産業の発展を非常に重視しており、双方が緊密に協力し、同市の良好な市場環境と産業インフラの強みを十分に生かし、共に軍・民融合発展と中国の有人探査機事業に積極的に貢献していきたいと伝えた（8月5日付『深圳特区報』）。

7. 市人代常務委員会による報告会の開催

●5日午前、丘海・市人代常務委員会主任主宰の上記報告会で、許勤・市長が市人代、在深圳全人代・省人代代表、市人代代表に向けて、本年上半期の経済・社会動向を報告し、意見や提案について聴取（8月6日付『深圳特区報』）。

8. 許勤・市長が胡問鳴・中船重工董事長一行と会談

●5日午前、馬興瑞・市党書記の委託を受けた許勤・市長は上記会談で、深圳市は海洋経済・海洋産業の発展を非常に重視しており、同市への中船重工の華南本部、金融本部設置を全力でサポートすると表明。併せて、双方が緊密に協力し、共に海洋経済と産業のイノベーションに基づく発展を推進し、“一帯一路”国家戦略のために積極的に役割を果たしていきたいと伝えた（8月6日付『深圳特区報』）。